

株式会社ノリタケカンパニーリミテド 2023年3月期第2四半期 決算説明会

〔 本資料には、将来の業績に関する記述が含まれています。
こうした記述は将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。
将来の業績は、経営環境の変化などによって、計画と異なる可能性があることにご留意ください。 〕

- 1. 2023年3月期 第2四半期決算概要**
- 2. 2023年3月期 業績予想と重点施策**

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

連結業績の概要

前年同期比で増収増益

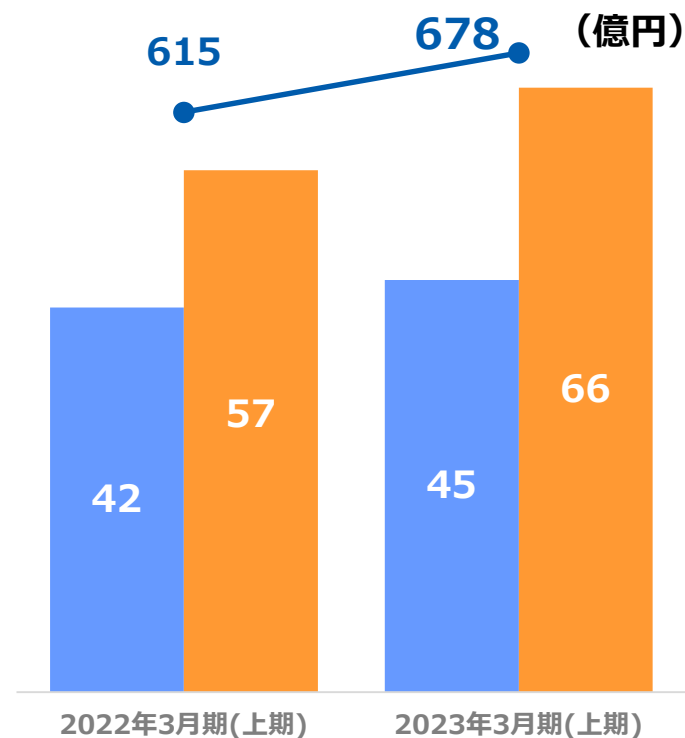
売上高・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益で過去最高を更新

(億円)

	2022年 3月期 (上期)	2023年 3月期 (上期)	対前年 同期比
売上高	615	678	10.3%
営業利益	42	45	8.1%
経常利益	57	66	15.7%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	42	52	23.1%

中間配当金90円/株 (期末配当金90円/株予定)

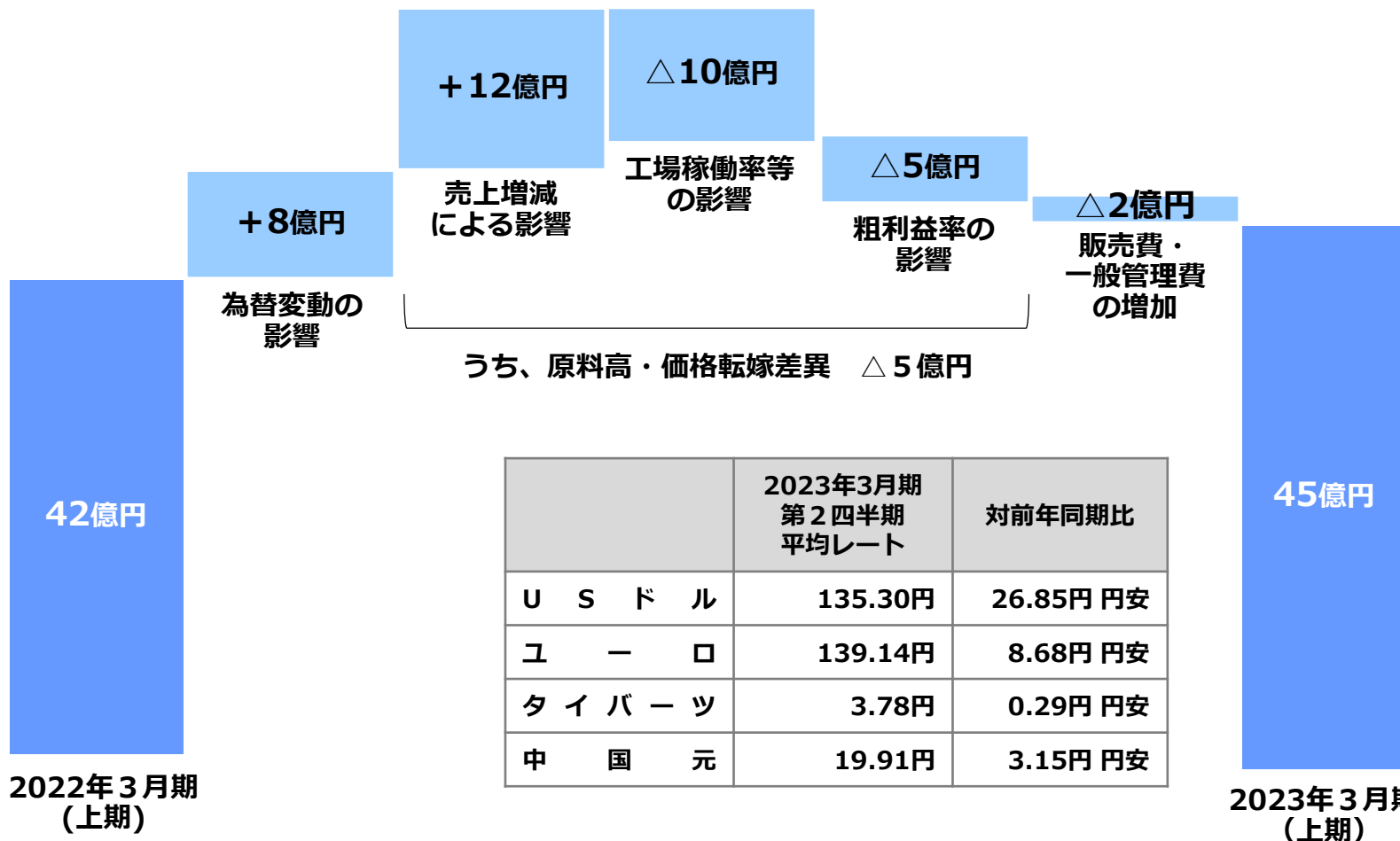
—売上高 ■営業利益 ■経常利益



1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

営業利益の変動要因

売上の増加と円安効果により、対前年同期比 3億円の増加



1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

経常利益の変動要因

営業利益の増加+3億円、受取配当金の増加・為替差益等により、
対前年同期比+9億円

(億円)

	2022年3月期 (上期)	2023年3月期 (上期)	対前年同期比
営業利益	42	45	3
受取配当金	4	5	2
受取賃貸料	2	3	0
為替差益	2	4	2
持分法による投資利益	7	7	1
その他	0	1	0
営業外損益	15	20	6
経常利益	57	66	9

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

特別損失

固定資産処分損 1.5億円

設備等の除却及び撤去費用を計上

(億円)

特別損失		
固 定 資 産 処 分 損		1.5
そ の 他		0.0
合 計		1.5

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

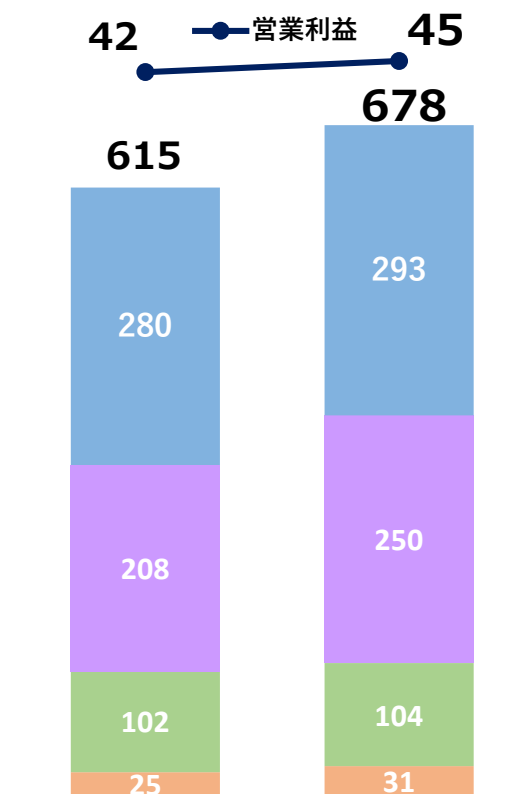
セグメント別 売上高

積層セラミックコンデンサ向けは減速も、セラミック原料の伸長、食器事業の収支改善、円安効果により増収増益

(億円)

		2022年 3月期	2023年 3月期	対前年 同期比
		上期	上期	
売上高	工業機材	280	293	+4.7%
	セラミック・マテリアル	208	250	+20.3%
	エンジニアリング	102	104	+1.8%
	食器	25	31	+25.3%
	計	615	678	+10.3%
営業利益	工業機材	13	15	+17.9%
	セラミック・マテリアル	29	28	△3.0%
	エンジニアリング	8	6	△27.2%
	食器	△7	△3	—
	計	42	45	+8.1%

売上高・営業利益 (億円)



2022年3月期(上期) 2023年3月期(上期)

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

セグメント別 売上高

工業機材事業

商品別売上高

(億円)

	2022年 3月期 (上期)	2023年 3月期 (上期)	増減
研削砥石	81	90	+9
ダイヤ・CBN工具	60	61	+1
切断・オフセット砥石	84	86	+3
研磨布紙	36	37	+0
関連商品	19	19	△0
合計	280	293	+13



【国内】

自動車業界の減産、鉄鋼・ベアリング業界への影響拡大により売上減少

海外

北米・東南アジアで自動車関連が低調、中国では各業種で徐々に回復し、全体では売上増加



1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

セグメント別 売上高

セラミック・マテリアル事業

商品別売上高

(億円)

	2022年 3月期 (上期)	2023年 3月期 (上期)	増減
電子ペースト	60	46	△14
電子部品材料	76	68	△8
セラミック原料	31	89	+59
セラミックス	41	46	+5
合計	208	250	+42



電子ペースト
顧客の在庫調整の
影響を受け大きく
減少

電子部品材料
自動車向けは堅調も
通信分野向けが低迷



セラミック原料
耐熱ガラス及び
強化ガラス用が
大きく増加

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

セグメント別 売上高

エンジニアリング事業

商品別売上高

(億円)

	2022年 3月期 (上期)	2023年 3月期 (上期)	増減
乾燥炉・焼成炉	70	73	+4
混合攪拌装置	5	6	+1
濾過装置	6	5	△2
超硬丸鋸切断機	6	5	△1
ロードカッター等	15	14	△0
合計	102	104	+2



乾燥炉・焼成炉
リチウムイオン電池、
電子部品分野が堅調

混合攪拌装置
食品向けは低調、
新分野の環境・半
導体向けが好調



濾過装置
設備投資抑制の影響
により減少

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

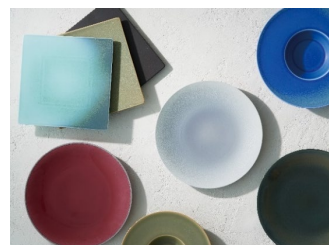
セグメント別 売上高

食器事業

商品別売上高

(億円)

		2022年 3月期 (上期)	2023年 3月期 (上期)	増減
	国内	10	14	+4
	米州	7	6	△2
	欧州・アジア	7	12	+4
合	計	25	31	+6



国内

ホテル向けの受注が回復傾向、直営店・オンライン販売が増加



米州

主要顧客の在庫調整により低迷



欧州・アジア

中国、インド向けの販売が伸長

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

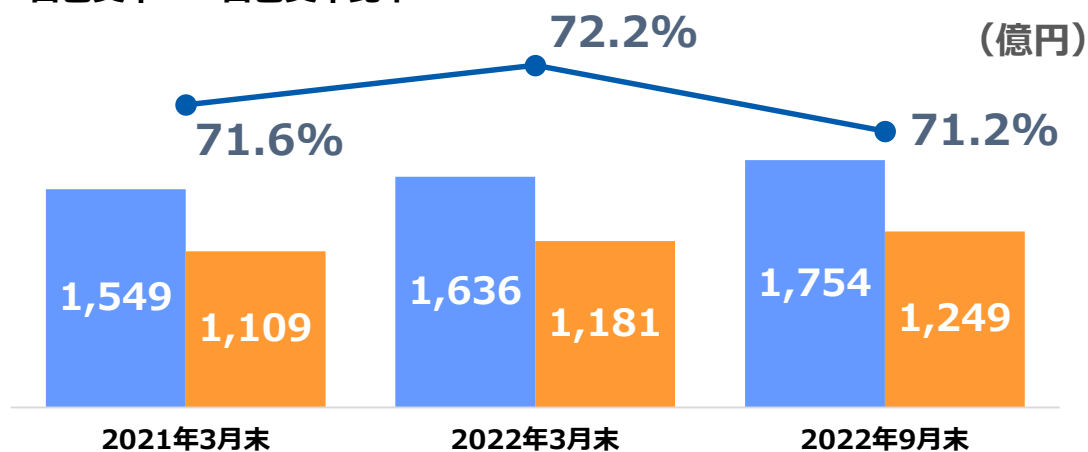
連結貸借対照表

総資産の営業債権・商品及び製品、自己資本の利益剰余金が増加

(億円)

	2021年 3月末	2022年 3月末	2022年 9月末	対前期末比
総資産	1,549	1,636	1,754	+118
自己資本	1,109	1,181	1,249	+68
1株当たり純資産	7,685円	8,184円	8,653円	+469円
自己資本比率	71.6%	72.2%	71.2%	△1.0%

■ 総資産 ■ 自己資本 — 自己資本比率



1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

キャッシュ・フロー計算書

フリーキャッシュフローは $\Delta 40$ 億円
現金及び同等物残高は104億円、対前年同期比 +1 億円

(億円)

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	対前年同期比
営業活動によるCF	54	$\Delta 14$	$\Delta 68$
投資活動によるCF	$\Delta 22$	$\Delta 26$	$\Delta 5$
フリーキャッシュフロー	33	$\Delta 40$	$\Delta 73$
財務活動によるCF	$\Delta 30$	18	+48
現金及び同等物残高	103	104	+1

1. 2023年3月期 第2四半期決算概要

有利子負債

(億円)

	2022年3月末	2022年9月末	対前期末比
有利子負債※	65	95	+30
現金預金	142	131	△10
ネット有利子負債	△77	△36	+40

※有利子負債には、リース債務は含めず

設備投資、減価償却費

(億円)

	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	対前年同期比
設備投資	25	25	+0
減価償却費	23	24	+0

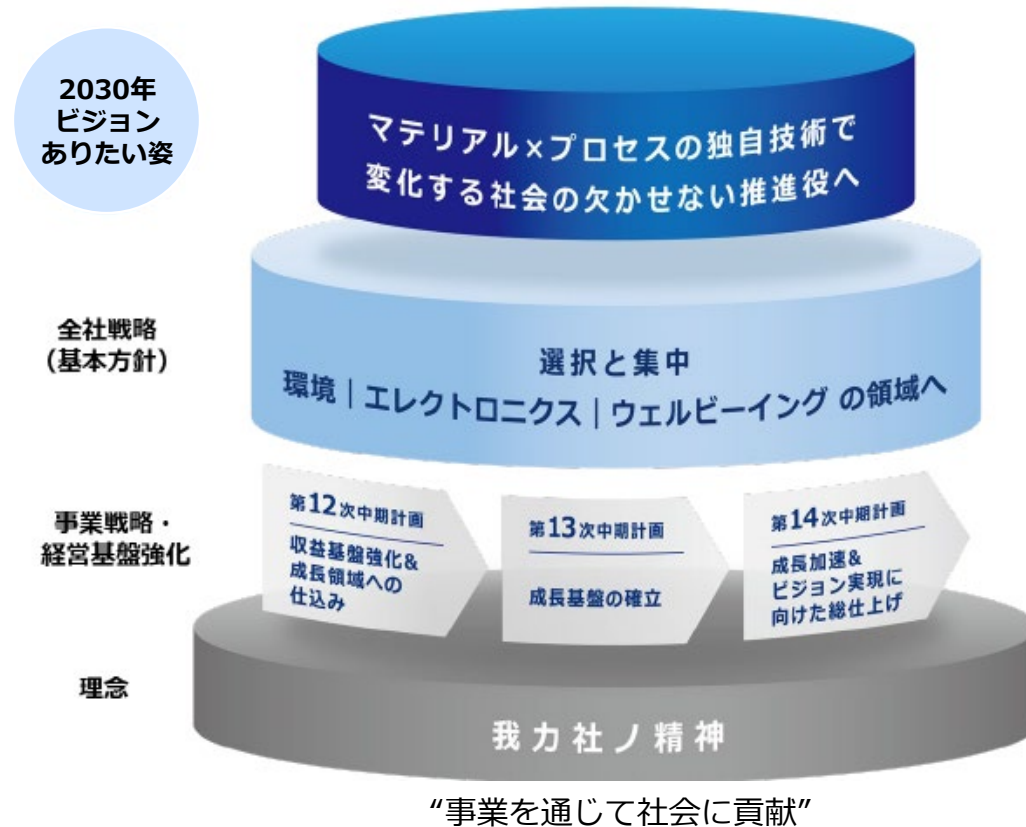
1. 2022年3月期 第2四半期決算概要

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

<第12次中期経営計画の概要>

長期ビジョン(ありたい姿)



「地球を元気に」「社会を便利に」「人と社会を幸福に」する企業を目指す

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

<第12次中期経営計画の概要>

中期経営計画の位置付け (2023年3月期～2025年3月期)

“収益基盤の強化と成長領域への仕込み” の期間

【注力する5項目】

- 不採算商品・事業の再編 ● 収益改善・合理化の推進 ● 増産／拡販対応
- 新規事業の仕込み ● 経営基盤強化

2024年度目標	2025年 3月期
売上高	1,470 億円
営業利益	130 億円
営業利益率	9 %
自己資本利益率 (ROE)	9 %
フリーキャッシュフロー (FCF)	200 億円 (3年間累計)

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

2023年3月期 業績予想

売上高 1,420億円、営業利益 90億円、経常利益 125億円

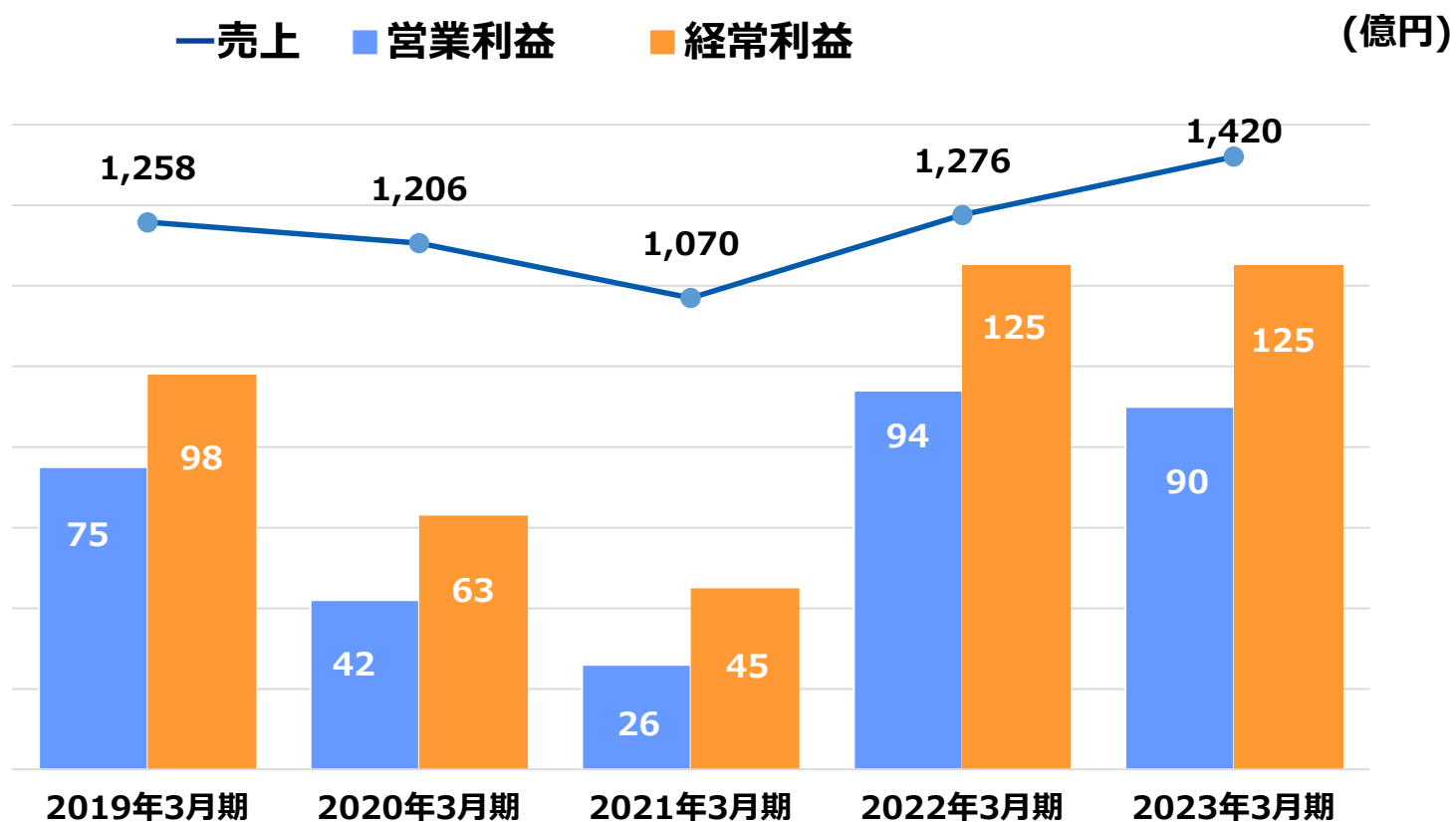
(億円)

	2022年3月期			2023年3月期予想			
	上期	下期	通期	上期	下期	通期	増減
売上高	615	662	1,276	678	742	1,420	+144
営業利益	42	52	94	45	45	90	△3
経常利益	57	68	125	66	59	125	△0
親会社株主に帰属する 当期純利益	42	49	91	52	48	100	+9

U S \$ 為 替	110.4円	135 円	140 円
------------	--------	-------	-------

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

売上高は過去最高、営業利益は減益、経常利益は横ばいを見込む



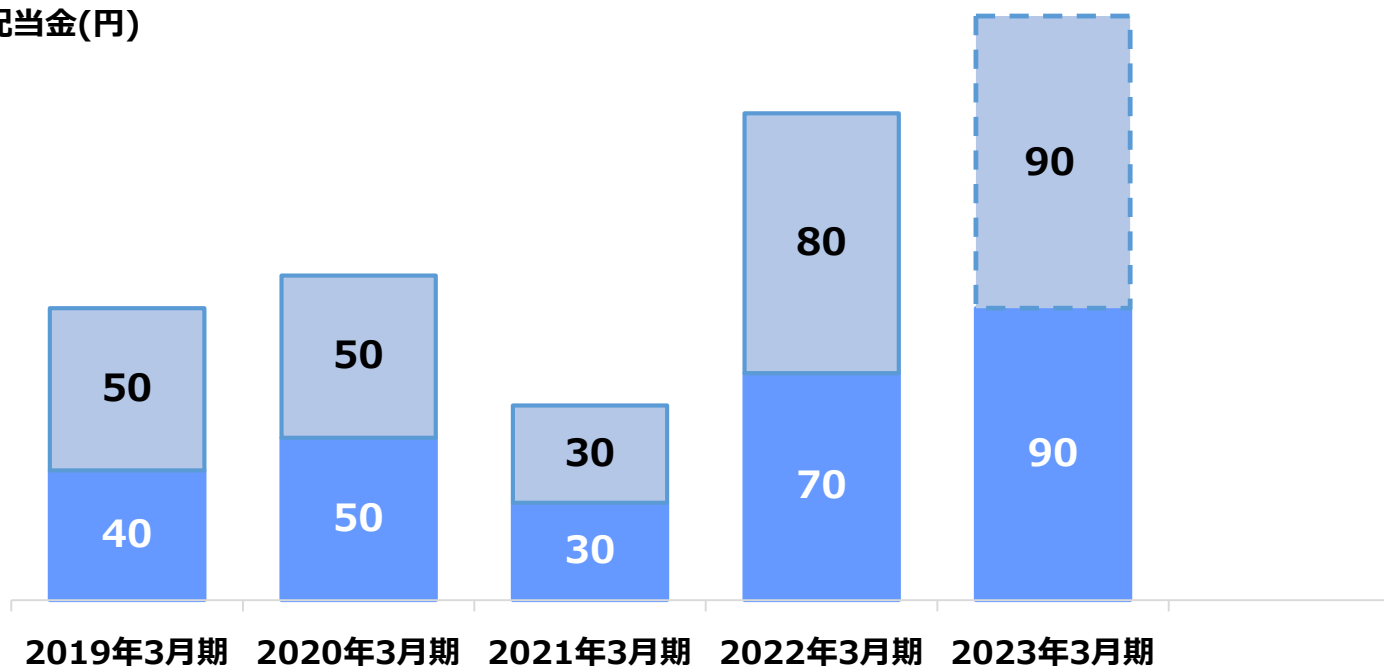
2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

配当金

業績の堅調な推移を受け増配 年間配当180円を予定

中間配当金90円/株、期末配当金90円/株を予定

- 期末配当金(円)
- 中間配当金(円)



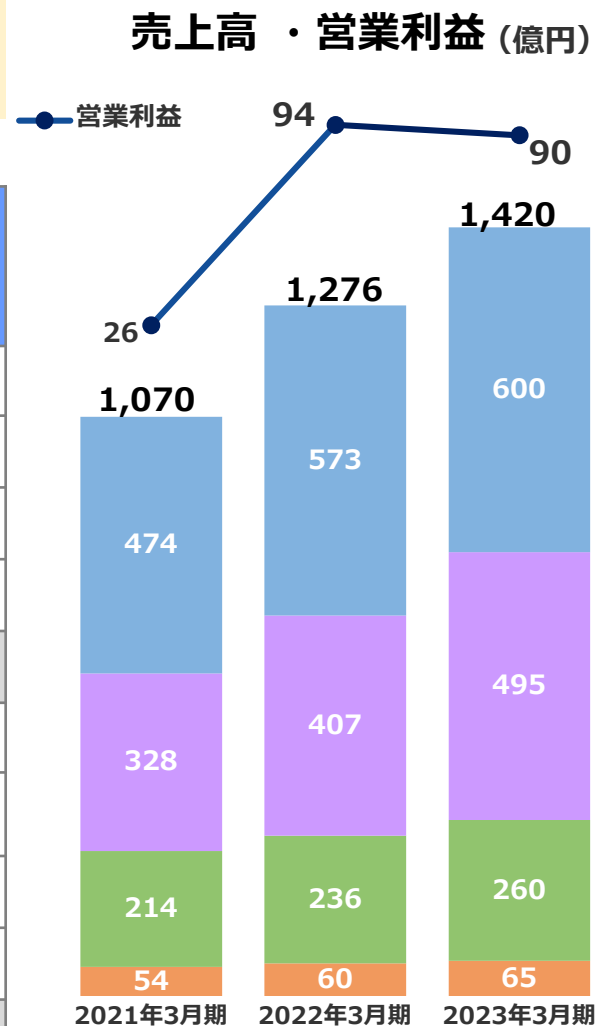
2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

セグメント別業績予想

円安効果もあり、全事業で増収の見通し
燃料・原材料価格高騰により営業利益は減益

(億円)

		2022年 3月期	2023年 3月期		増減	
		通期	上期	下期		
売上高	工業機材	573	293	307	600	+27
	セラミック・マテリアル	407	250	245	495	+88
	エンジニアリング	236	104	156	260	+24
	食器	60	31	34	65	+5
	計	1,276	678	742	1,420	+144
営業利益	工業機材	31	15	15	30	△1
	セラミック・マテリアル	54	28	14	42	△12
	エンジニアリング	21	6	15	21	+1
	食器	△12	△3	0	△3	+9
	計	94	45	45	90	△3


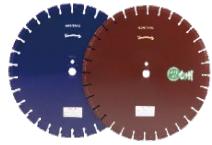





2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

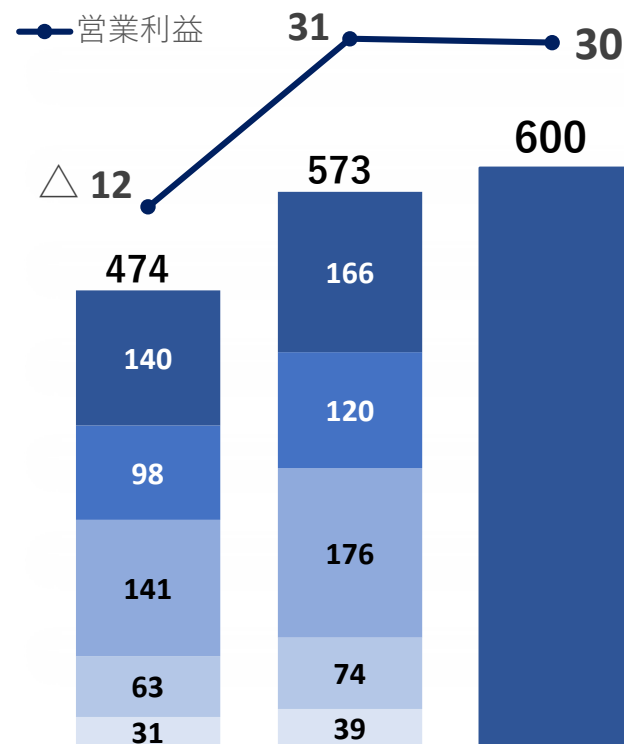
工業機材事業

自動車関連向けの回復が遅れ、概ね横ばいで推移

売上高 600億円 (2022年3月期比較 27億円の増収)
 営業利益 30億円 (2022年3月期比較 1億円の減益)

研削砥石	
ダイヤモンド・CBN工具	
切断・オフセット砥石	
研磨布紙	
関連商品	

商品別売上高・営業利益 (億円)



2021年3月期 2022年3月期 2023年3月期

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

工業機材事業

既存事業の収支改善と成長分野進出に向けた基盤整備

オーダーメイド品と汎用品に事業を再編し、効率的な事業体制を構築
2022年10月1日付で連結子会社である日本レチボン株式会社と株式会社ノリタケコーテッドアブレーションを合併し、汎用品事業を統合



【オーダーメイド品事業】

- ・徹底した収支改善、増産体制の確立、販売拠点の整備等による収益基盤の強化
- ・半導体、自動車の電動化等の成長領域における新技術・新商品の開発

【汎用品事業】

- ・経営基盤の効率化と製造・販売体制の再編による収益力の強化
- ・成長領域への進出に向けた製造・営業体制の構築、経営資源の集中

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

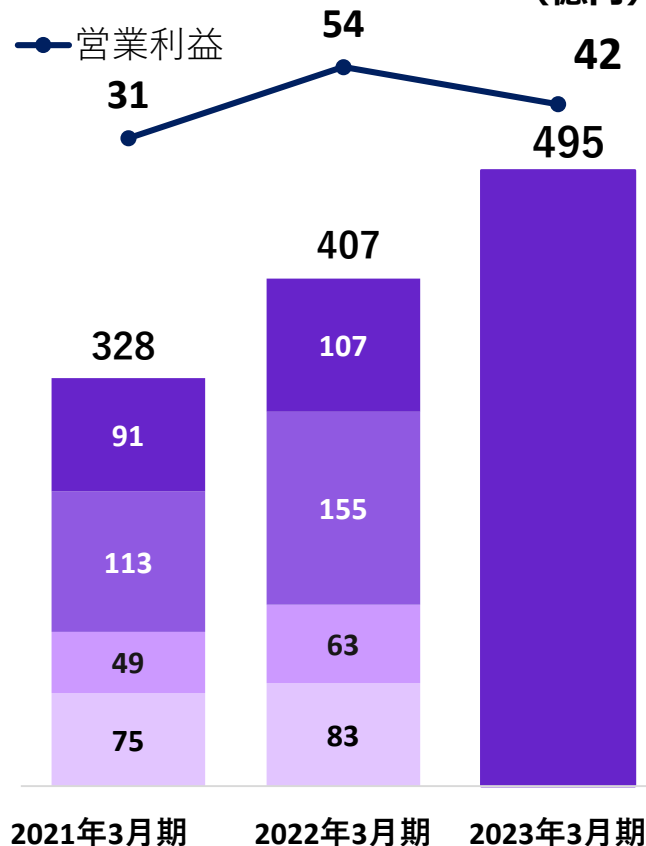
セラミック・マテリアル事業

積層セラミックコンデンサの回復が遅れるも、セラミック原料が伸長

売上高 495億円 (2022年3月期比較 88億円の増収)
 営業利益 42億円 (2022年3月期比較 12億円の減益)

電子ペースト	
電子部品材料	
セラミック原料	
セラミックス	 <p>石膏 触媒担体 厚膜回路基板 セラミックコア 蛍光表示管</p>

商品別売上高・営業利益 (億円)



2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

セラミック・マテリアル事業

事業の選択と集中、事業ポートフォリオの再構築

電子ペースト

エレクトロニクス分野での製品ラインナップの拡張と生産能力の増強によるシェアの拡大、新商品の開発推進



電子部品材料

積層セラミックコンデンサ用材料の生産能力増強による事業の拡大、成長領域における新商品の開発推進



セラミックス

事業の選択と集中、新商品・新事業の創出による事業ポートフォリオの再構築




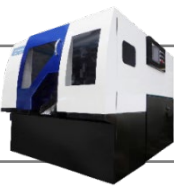



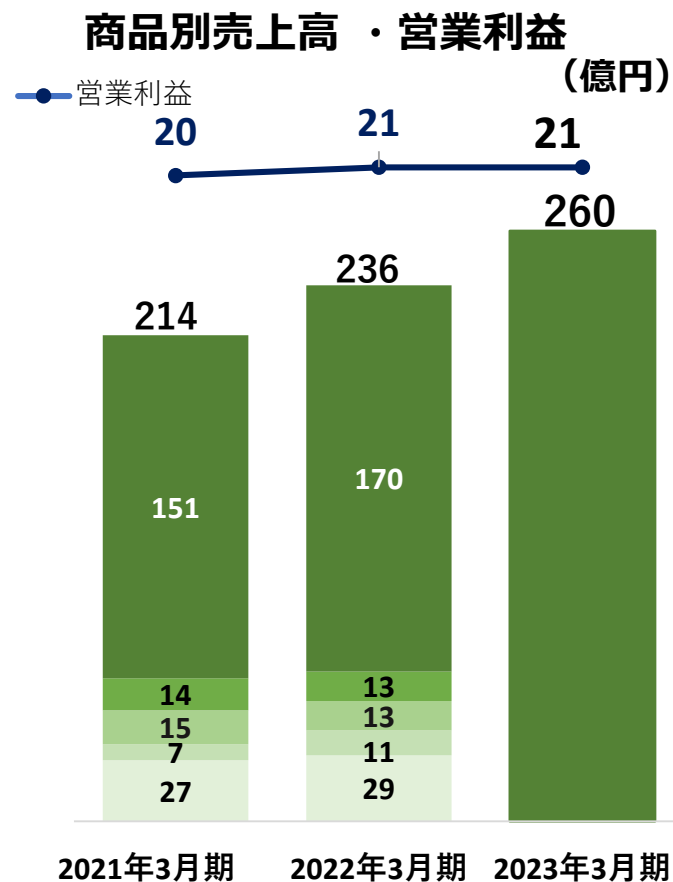
2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

エンジニアリング事業

下期は設備投資の回復、海外工事の伸長を見込む

売上高 260億円 (2022年3月期比較 24億円の増収)
 営業利益 21億円 (2022年3月期比較 1億円の増益)

乾燥炉・焼成炉	
混合攪拌装置	
濾過装置	
超硬丸鋸切断機	
ロードカッター等	



2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

エンジニアリング事業

成長領域への注力と新分野の開拓

【エネルギー、エレクトロニクス分野】

拡販とアフターサービス体制の強化によるシェア拡大



水素燃焼式リチウムイオン電池極材用連続焼成炉 (C-SERT-RHK-Nero)

【自動車分野】

電動化に伴う新用途・新商品の開発推進



ファインバブル
(微細気泡) 発生器



小型スティックミキサー

【新分野】

新分野(医薬、半導体、新素材)への参入と市場の開拓

【環境分野】

新用途・新商品の開発強化



乾式ロードカッター



クーラント濾過装置

2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

食器事業

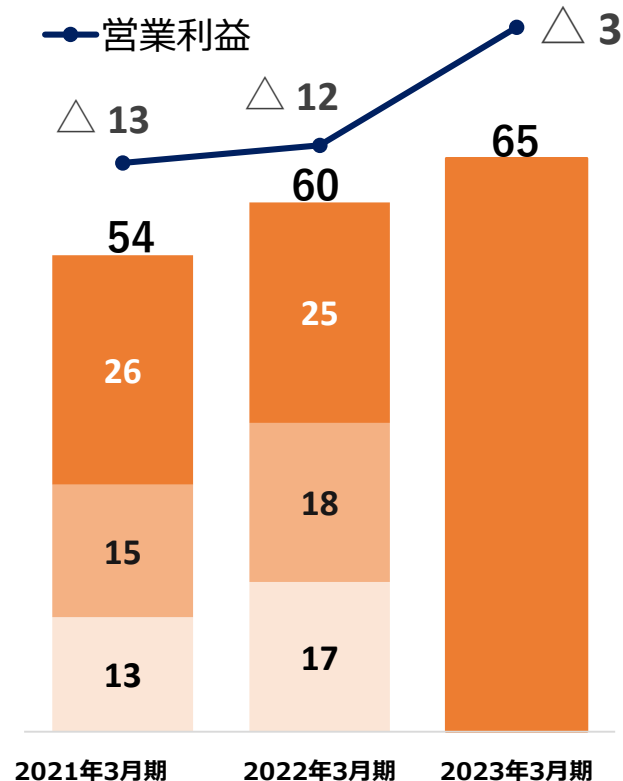
営業損失縮小、下期は収支均衡へ

売上高 65億円 (2022年3月期比較 5億円の増収)
 営業損失 △3億円 (2022年3月期比較 9億円の増益)

	国内	
	米州	
	欧州 アジア	

商品別売上高・営業利益 (億円)

● 営業利益



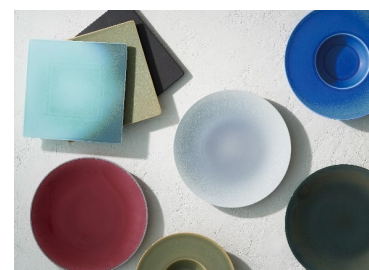
2. 2023年3月期 業績予想と重点施策

食器事業

黒字化に向けて収支改善を継続

国内

オンライン販売の強化
ホテル・レストラン向けの拡販
流通経路・物流の再整備による経費削減



米州・欧州・アジア

成長市場であるインド、中国、
東南アジア等の主要国での拡販

